

# 企業誘致と子育て支援に重点

## 岩沼市長に就任した佐藤淳一氏

任期満了に伴い6月5日に行われた岩沼市長選挙で、前市議会議長の佐藤淳一氏が初当選した。子育て支援の充実と企業誘致に重点を置き、ハード、ソフトの両面で「他より進んだまち」を目指す考えだ。ハード面では市内小中学校8校をはじめ、市役所庁舎などの公共施設が耐用年数を迎えることから、改修工事や建て替えの検討に近く入る。就任に当たっての抱負や今後の政策などを聞いた。

就任の抱負をお聞かせください。

佐藤 これまで「分からないから進めない」という意識でいたところを「分からないことは、分かる人に任せる」と改めるところから始めたいと思っています。人口、企業、予算を他の自治体と取り合う中で、「岩沼っていいね」と若い人たちに思ってもらうためには、決定権を持つ人たちが冒険し、若者をどんどん登用すること。若者がチャレンジできるような組織づくりをしていきます。

意識改革が1番のハードルになると思いますが、私の座右の銘は「しつこい、諦めない」ですので、粘り強く進めていきます。

当選した際に「先進的なまちづくりを進める」と仰っていました。

佐藤 ハード、ソフトを含め全ての政策に取り組み「他より進んだまち」を目指します。これまでの本市は堅実なまちづくりを進めてきて、一定水準のものはそろっています。その上で、その一歩先を行く施策を行いたいと考えています。

私は公約に子育て支援の充実と企業誘致を進めることを掲げました。こ

の2つは全ての自治体で取り組んでいますが、ここで負けてしまえば10年後、20年後、本市の自治体力が大きく落ち込むこととなります。負けられないという意識を持ち、力を入れていきます。

企業誘致についてのお考えを。

佐藤 仙台国際空港や仙台港、東北自動車道岩沼インターチェンジが近いことから、本市には地の利があります。流通系企業を中心に工業団地の引き合いがあり、臨空工業団地や矢野目西工業団地はほぼ完売の状態のため、新たな開発をできる限り早く行わなければなりません。

製造業などの多くの人を雇用する企業の進出を望んでいますが、地の利を生かすには物流関係企業が向いていると思っています。この流れを変えず岩沼への立地メリットをしっかりと企業側に示すことに加え、どんな会社に来てほしいのか地域要望をくみ取っていきます。

企業誘致に向いている一方で、観光には弱く、観光で潤っている業者はほとんどいない印象です。ただ、歴史あ

る竹駒神社と金蛇水神社はそれぞれ独自でリニューアルを進め、市内業者に発注して、良い相乗効果が生まれています。市では神社周辺などの環境整備に取り組み、応援するつもりです。参拝した人がさらに市内で1~2カ所立ち寄ることができる仕掛けを民間のアイデアを取り入れながら創っていきます。

子育て支援の充実については。

佐藤 私自身の経験や子育て世帯からの話で、共働きで苦勞が多いという声が上がっていました。このため公約

安心して子育てができる環境を整え、民間保育所を引き続き誘致します。

ハード面での課題は。

佐藤 1971年の市制施行のころから整備が拡大された上下水道や道路の老朽化が進んでいます。壊れてから直すのではなく、予防的に直していくことが市民の安全を守り、予算を減らしていく策だと思います。

また、市役所庁舎は建設から今年で50年。あと15年使う方針ですが、詳細に調べるともっと短くなる可能性もあります。市役所整備については議員時代から訴えてき

ましたが、市長になった今でも壊れてからは遅いという気持ちは変わりません。建て替えが必要になった時に予算がないことがないように、積み立てをするなど準備を進めていきます。

市内の小中学校8校も老朽化しており、計画的に改修工事を行います。

近々に取り組む事業は。

佐藤 新しい施設を建てるには、古い

施設を解体しなければならないと考えています。例に挙げる市民体育センターと農村環境改善センターです。

市民体育センターは総合体育館、農村環境改善センターはハナトピア岩沼がそれぞれ近くにあり、ほとんど機能が同じもの。現在、市民や利用者と話し合いをしています。将来的には新しい方の施設に機能を移転させ、施設の集約を図りたいと考えています。ハナトピアは建物の規模を大きくしてさらに使い勝手を良くすることを構想中です。

最後に建設業界へのメッセージをお願いします。

佐藤 東日本大震災からの復興作業は、地元を中心とした建設業者がいたからこそ成し遂げられました。復興工事が終わった今、「工事が減る」と思っている方もいるかもしれませんが、業者の皆さんの仕事を作れるよう、市として協力していきます。企業を誘致して人口規模や経済を維持し、全ての市民、業種がしっかりと立ち行けるよう努めていきます。



さとう じゅんいち

1972年11月10日生まれ、49歳。中央大学卒業後、衆議院議員秘書を経て2011年の市議会議員選挙で初当選。3期務め、22年1月から議長。任期途中で辞職し、同年6月の市長選で当選した。「しつこい、諦めない」姿勢でさまざまな改革に取り組む。趣味はDIY。農業用倉庫を改修した自身の選挙事務所は自作。

## 先進的なまちづくりを

に第2子の保育料無料化を盛り込みました。

また、現在の放課後児童クラブ(学童)は人員やハード整備の問題から、利用できるのが小学1~3年生のみと限定されています。ここを段階的に利用できる学年を増やしていきたいと思っています。企業誘致を進める上で、共働きができない環境というのは大きなマイナスポイントとなります。

# 岩沼建設産業同友会

会長 渡邊 大作

### ○年間事業

- ・災害協定の締結(緊急時の巡回点検や災害時の応急措置の協力など)
- ・スクールボランティア活動(市内小学校・中学校の環境整備)
- ・市内の除草・清掃活動(歩道・通学路・地下道など)



<b>伊藤建設株式会社</b> 代表取締役 伊藤 淳寛 岩沼市桜5-3-59 TEL.0223-24-2383	<b>岡田建設資材株式会社</b> 代表取締役 岡田 茂 岩沼市藤浪1-3-12 TEL.0223-22-2249	<b>株式会社佐藤建設</b> 代表取締役 佐藤 房弘 岩沼市下野郷字出雲屋敷80 TEL.0223-24-0545	<b>株式会社田中土木</b> 代表取締役 鯨岡 一志 岩沼市下野郷字指ノ下19 TEL.0223-22-5857	<b>春山建設株式会社</b> 代表取締役社長 金山 太 岩沼市相原2-9-23 TEL.0223-22-5711
<b>株式会社平間建設</b> 代表取締役 平間 正明 岩沼市押分字与奈30-1 TEL.0223-22-3761	<b>株式会社森商事</b> 代表取締役 森 通匡 岩沼市押分字南谷地86-4 TEL.0223-22-3719	<b>株式会社森龍組</b> 代表取締役 森 トキ子 岩沼市寺島字浜里76-1 TEL.0223-24-3465	<b>株式会社渡辺サービスセンター</b> 代表取締役 渡邊 大作 岩沼市下野郷字新拓170-1 TEL.0223-22-1505	<b>株式会社エコロクス</b> 代表取締役 黒田 満治 岩沼市下野郷字指ノ下19 TEL.0223-22-6737
<b>ツカサ工業有限会社</b> 代表取締役 小野 智司 岩沼市志賀字石山9-3 TEL.0223-23-9860				

**群 建築設計事務所**  
 GUN ARCHITECT DESIGN OFFICE  
 代表取締役 大平 宏行  
 仙台市太白区鹿野二丁目15番12号  
 TEL.022(248)7781 FAX.022(248)7721

**RO (株) 構 建築設計事務所**  
 代表取締役 徳田 伸治  
 代表取締役 早坂 陽  
 仙台市青葉区上杉二丁目4番46号(宮城県森林組合会館内)  
 TEL.022(262)3301(代) FAX.022(222)3440

明日を考え未来へ結ぶ  
 自然にやさしいエンジニアリング  
**SDK 産電工業株式会社**  
 代表取締役 高橋 昌勝  
 本社/仙台市若林区荒井東二丁目13番地の1  
 TEL.022(352)3095(代) FAX.022(288)8820

**TOLEX** まちづくりをトータルサポートする総合建設コンサルタント  
**東日本総合計画株式会社**  
 BIM / CIM 推進中  
**LiM** 3D BRAND  
**仙台支店**  
 仙台市若林区土樋 254 番地  
 TEL 022 (209) 5127  
 FAX 022 (209) 5129

社 是 : 技術・人格・社会貢献  
 ISO認証取得 : ISO9001 / ISO14001 / ISO27001 / ISO55001  
**FG 株式会社 復建技術コンサルタント**  
 代表取締役 菅原 稔郎  
 健康経営優良法人 2022  
 Health and productivity  
 本 社 / 〒980-0012 仙台市青葉区錦町 1 丁目7番25号  
 TEL.(022)262-1234(代) FAX.(022)265-9309 URL http://www.fgc.jp/  
 支 店 / 青森、盛岡、秋田、仙台、山形、福島、東京、名古屋、関西 営業所/札幌  
 事務所/ 函館、五輪、福島浜通り、埼玉、千葉、神奈川、北陸、三重、滋賀、奈良、兵庫、広島、熊本